

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



いまや金木の全国的名物地吹雪ツアー
そのツアーで馬ソリを引く今年の干支「金太郎」
安全祈願のおはらいをうけ思わず「ヒヒーン」

主な内容

<p>第130回 金木町議会定例会報告……………2 赤ちゃんをだっこしてみよう…3 (南中) 金木町農業委員会 タイ農業視察報告書……………4 年の初めに 綱引きでワッショイ……………5 学校部活動紹介……………6</p>	<p>P</p> <p>「24時間テレビ」より 入浴乾燥車寄贈……………7 厄を払ってこれからも元気で…8 平成2年合同厄払い 金木病院カルテ……………9 お知らせ……………10・11 戸籍の窓……………12</p>	<p>P</p>
---	--	----------

人口と世帯

	1月末現在	前年同月比
男	6,437人	△ 103人
女	7,018人	△ 88人
計	13,455人	△ 191人
世帯数	3,903	

新議長に竹内武六氏就任

第百三十回金木町議会定例会報告

平成元年十二月定例会は十二月十六日開会され、会期を二十日までの五日間と決め、議案十四件を原案通り可決、一般質問には中村政徳議員、吉崎正光議員の両氏が登壇して質問し、最

終日に竹内武六氏を第十六代議長に選出して閉会しました。
可決された案件は次のとおり。
議案第五十三号
平成元年度金木町一般会



▲議場のようす

- 計補正予算（第七号）の件
議案第五十四号
平成元年度金木町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第二号）の件
議案第五十五号
平成元年度金木町水道事業会計補正予算（第一号）の件
- 議案第五十六号
金木町ふるさと活性化基金条例の一部を改正する条例の件
- 議案第五十七号
金木町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例の件
- 議案第五十八号
金木町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の件
- 議案第五十九号
財産の取得の件
議案第六十号
寄付採納の件
議案第六十一号
寄付採納の件
議案第六十二号

- 寄付採納の件
議案第六十三号
寄付採納の件
議案第六十四号
金木町教育委員会委員の任命について同意を求める件
議案第六十五号
金木町教育委員会委員の任命について同意を求める件
議案第六十六号
金木町教育委員会委員の任命について同意を求める件

- 一般質問要旨（抜粋）
- 中村政徳議員
- ①金木駅前自転車置き場について
 - ②嘉瀬西地区集会所の新設について
- 答弁・町長
- ①津軽鉄道と折衝し町としても補助を出して設置するように努力していきたい。
 - ②昨年あたりから考えていることであるが場所の確保が問題であり、また嘉瀬公民館の老朽化に伴い村の中央部に広々と駐車場を確保

- して建設したいと考えています。
- 吉崎正光議員
- ①ワイリピンとのことで投書が掲載されているが真相は如何にや
 - ②町振興のビジョンは如何にや
- 答弁・町長
- ①明鏡欄投書の内容については間違いがあり、十二月四日真相が載っております。
 - ②いろいろあるがまず第一に町民の長年の悲願である金木川の改修を達成したい

議長就任のあいさつ

金木町議会議長 竹内武六



不肖私、昨年十二月第百三十回定例町議会におきまして議員各位の御推挙によりまして、町議会議長の要職につきましたことは、まことに身に余る光栄であります。

私は、自らの浅学非才を顧みまして、責任の重さを痛感いたしておりますが、ご推せんを受けたうちは、当町の発展と町民福祉の推進に、誠心誠意努力いたします覚悟でございます。

なにとぞ先輩同僚議員の皆様方、理事者各位は申すに及ばず、町民各位におかれましても、旧に倍する御支援、ごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

「赤ちゃんをだっこしてみよう」 金木南中学校女子 生徒体験学習

金木南中学校（平川亮司校長）でこのほど金木病院（三上俊郎院長）の協力を得て「赤ちゃんをだっこしてみよう」という体験学習を行いました。

この体験学習は「赤ちゃんを抱く実感を通して、生命の尊さを学び、自己を大事にする実践力を養うとともに、自分の成長に思いをいたし、よりよい自分あり方について考える習慣を



山中 珠美

生まれて○カ月の赤ちゃんはだっこしたことあるけど、まだ、生後四日、一週

「養う」ことを目的としたもので、三年生の女子全員を対象に行ったものです。

実践に参加した女子生徒たちは、事前指導にスライ

ドやビデオを見て生命の大切さなどを勉強した後、看護婦さんの指導のもと、病室に向いって新生児を代わる代わるだっこして、その「重さ」に感激していました。

「赤ちゃんをだっこして」感想文

するのを見るのも初めてでした。

抱いたとき泣いたらどうしようと思ったけど眠っていたので安心した。双子が入っているお腹を見てあんなにはつきり動くんだと感心した。また心臓の音を聞いてちゃんと生きているんだなって感動した。お風呂にいられたり、おむつをかえ

をやったりで、聞いてたはいへんそうだったけど本当にお母さんの表情が優しかったのを見て胸が熱くなった。

工藤 由紀子



生まれたばかりの赤ちゃんは、とても小さくて弱々しかった。でも一生懸命に手足を動かしているのを見ると、生きているんだなあと改めて思った。こんなに小さくても、命は一人前なんだと思った。体はとてもやわらかくて、つきたてのお餅のようだった。

まだお母さんの中にいる赤ちゃんの心臓の音はびっくりするくらい速かった。きつと、この速さと同じくらいのスPEEDで成長していると思う。お母さんの中

「早くでたいよー！」とでもいつているようだった。赤ちゃんは生まれたときから生きているんじゃないかと、お母さんの中にいるときから生きているんだと思った。お母さんは約十カ月ものあいだ、大切にお腹の中で育て、生まれてから一生懸命に育てるのかと思うとお母さんは強くなきゃダメだと思った。きつとお母さんになったときから強いはず。

今回の体験はずっと忘れないで自分が母親になるまで覚えていたい。もし機会があったら、今回だっこした赤ちゃんとお母さんに、赤ちゃんが大きくなったらもう一度会ってみたい。

山中 彩女



今日見学してとてもよかったです。まだ生まれてまもない赤

かわいいなあと思った。赤ちゃんはお母さんがとって大好きで、絶対お母さんがいなければ駄目だとわかってた。それなのに、世の中には子供を捨てたり殺したりする母親がいる。私はその母親がちよつとおかしいのではないかと思う。赤ちゃんはとってもお母さんのことが好きなのに、親はそれをふみにじっている。私はそんな赤ちゃんがとつてもかわいそうに思う。なぜなら一番好きな人に見捨てられるのだから。

でも、今日見た赤ちゃんはみんな幸せそうだった。大好きなお母さんや優しい看護婦さんに見守られていたから、とてもよかったです。

吉崎 由美子



赤ちゃんを見ての感想はかわいいなと思った。実際

もつとかわいいなと思った。どうやって抱いたらいいのかわいそうとまどつたけどなんとか抱けた。私が思っていたよりも小さくてかわいかった。赤ちゃんを抱いてみてもう一つ感じたことは、「あたたかい」など思った。こんなに小さいのに私より暖かかったような気がした。赤ちゃんもかわいかったけど赤ちゃんのお母さんの笑顔がすてきで印象に残っている。

赤ちゃんの心臓の音を聞いたときすごく速くてびっくりした。双子だと聞いて、またもやびっくりした。一人の女性に心臓の音が三つもなっている気持ちはやっぱり嬉しいだろうなと思った。あと、赤ちゃんが腹の中で元気に動いているのを見て感動した。

今回の見学は私にとってプラスになったと思います。とくに生まれて間もない赤ちゃんを見て、かわいいと思っただけでなく、赤ちゃんのお母さんがとても大変だなとおもったことです。いろいろな部屋を見たこ

金木町農業委員会 タイ農業視察報告書

(平成元年11月29日～12月4日)

この度、三年に一度計画されている海外研修が町当局のご援助により待望の、世界一安い米を生産しているタイの稲作を視察することができましたことに対し心から感謝申し上げます。以下みたまま聞いたままを報告し今後の金木町の農業にいくらかなりとも寄与していきたく存じます。タイ国は人口六〇〇〇万人その内八〇%のタイ系を中心に中国系、マレー系、カンボジア系、ラオス系、その他の民族によって構成され九四%以上が仏教徒だそうです。面積は日本の一・四倍で

平均気温は北部二十六度、中部二十七度、南部二十八度と、最も暑い時期は四月で最高四十度にも達し十二月が一番涼しく、乾季は十一月～四月で、雨季は五月～十月と区別がはっきりしていて、四年に一度は水位が極端に上がることもあるそうです。地震はなく、私達の見てきたバンコク周辺は見わたす限り平坦で山は全く無く湿地帯で、バンコク到着時飛行機で上空から見た時は畑も有るように見えました。バンコクから二時間以上もバスで走ったが、ほとんど水田で野菜畑は見当たりませんでした。それ以上は時間の関係で遠くに行けません。農機具はバスで走っている時道端でコンバインらしき物一台見ましたが、あとは日本製の二〇～三〇馬力位の中古トラクターを販売している所があつちこつちに見られました。

なので水田にはまだ十五cm以上水がありほとんどの稲は穂が出たばかりでしたが一ヶ所だけが収穫作業をしているところに出会い、その農場主にその付近の農業状況を聞いてきましたので書いてみます。収穫作業は水田に水があるので水田に舟を入れて刈り取った稲を運んで工業用地として埋立されている所に設置された脱穀機に稲の根元から投げ入れるようにして脱穀作業をしています。葉は切断され吹き飛ばされ籾は脱穀機の下に落ちそれを竹かごのような物にかきとるといった非能率的な作業法でした。その農家の耕作面積は約三二〇a

以上のように、この農家は一作で粗収入約十九万二千円になりますが、それ以外に川魚を取ったり、水牛を四～五頭飼育しているから生活費は十分だとのことでした。二日目、見学させてくれる精米工場があるとのこと早速見学させていただきました。日本では三十年も前に使われていたような設備でした。そのようなところでないと精米工場だけでなくすべての企業は工場内を見せてくれるところはないとのことでした。タイの人口六〇〇万人に対しバンコクの人口六〇〇万人と十分の一もバンコクに集中して、周辺の農地は工業用地として買収され企業の所有地となっていて日本のメーカーの社名もあちこち見られました。発展にともない物価、賃金、生活水準が上昇してきたらこのように安価な米を生産することができるとのさうか。そのようなことを思いながら、貸金対物価など計算しながら日本に帰ってきました。

村人の幸福を願って 観音菩薩建立

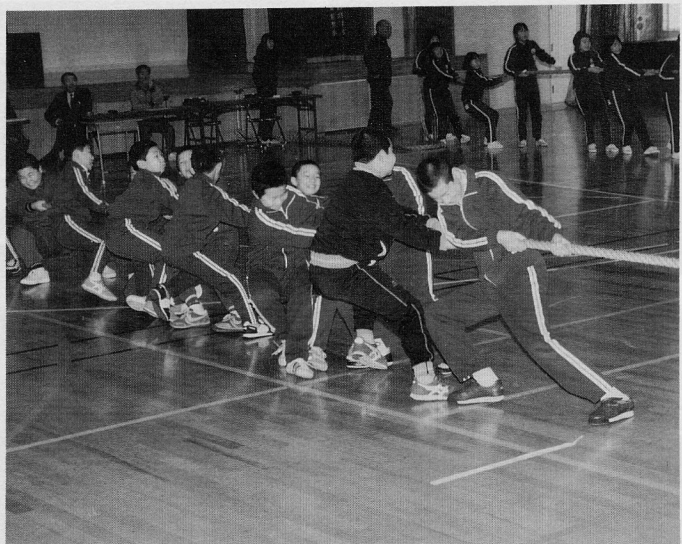
「手を合わす
また手を合わす観音様に
昨日の幸福
今日の幸福に感謝いたし
そして明日も
またそのあしたも
あなたの家も
私の家も
町じゅう皆んな
幸福に」

「自分には子供がいらないため、その代わりに世の中の人のためになるものが何かないか」
と考へてるときに「人々の苦悩や災難を救い、求めるものを与えるほさつ」と言われる観音菩薩を思いついたもので、この菩薩像は、石製で本体の高さが八尺、台座が四尺四方という立派なものです。

成田さんの願いの通り、藤枝集会所わきに観音菩薩を建立、村人に喜ばれています。建立のいきさつについて成田さんは、



観音菩薩像と成田清作さん



▲歯をくいしばって

年の初めに 綱引きでフツシヨイ!

第三回を数える金木町健全育成綱引き大会が一月九日金木中学校体育館に小・中学生三〇〇人が参加して賑やかに行われた。

この大会は、小・中学生の児童・生徒を明るい青少年に育てたいという趣旨のもとに、金木町校外指導連絡協議会（会長・熊谷金木

中学校長）が開催した今年初めての競技会で、競技に先立ち熊谷会長が「これからの時代を背負っていくのは若い君たちが主役であって、健全な心も健全な身体あつての心である。勝敗にこだわらず、正々堂々とがんばって有意義な一日にしてください」と激励したあ

第四回町民俳句大会 入選決まる

昨年十月に本誌において投句を呼びかけた、第四回金木町民俳句大会の入選発表がおこなわれました。

この大会は、過去に幾多の俳人を生んできた俳句の町金木町をふたたび俳句によつてもりあげようとおこなつたもので、一部（一般の部）二百句、二部（小・中・高校生の部）が三百句にもものぼる投句があるなど

その反響の大きさにも伝統の重みを感じさせる俳句大会になった。

成績は次の通り。

◎第一部

第一位（町長賞）

須崎まさとし
生木まで
燃やして袖の

大焚火

第二位（教育長賞）

長内 舂骨

と、男女に別れてリーグ戦に入り、チームワークと体力を競つた。

リーグ戦は、熱戦につぐ熱戦、三本勝負で九回も戦うとあって、力の均衡と疲れのためかほとんどもがなかなか勝負がつかず、大会が終わる頃には暖房が入っているとはいえまだまだ寒い館内が熱気で汗ばむほどとなり、また、応援にも力が入っていた。

それでも勝負が終わったあとの顔は、今まで全力をふりしぼって戦っていたと

は思われなほど、みんなの顔がすがすがしかったのが印象的であった。

◎結果は次の通り。

★小学校男子の部

- 第一位 金木小Aチーム
- 第二位 喜良市小Aチーム
- 第三位 川倉小Aチーム

★小学校女子の部

- 第一位 川倉小Aチーム
- 第二位 金木小Dチーム
- 第三位 金木小Aチーム

★中学生女子の部

- 第一位 金中ソフトボール部
- 第二位 金中陸上部
- 第三位 南中

黄落や

嬰はすこやかな

香を放つ

第三位（議長賞）

鈴木 七郎

暮れてなお

新薬の匂ひ

日の匂ひ

◎第二部

第一位（町長賞）

西村郁代（喜小五年）
秋空に

雲がえがいた

大きな絵

秋元真由美（金中二年）

稲刈りて

黒くにじんだ

父の汗

第三位（議長賞）

山田真由美（金中三年）

秋空を

二つに分ける

飛行雲



▲表彰式の様子

げんきはつらつ学校部活動紹介⑦

金木小学校相撲部



▲金木小学校相撲部

ぼくたち相撲部は、六年生が五人、五、四、三年生が二人ずつの全部で、十一人の部活動です。つらかった、去年の冬の寒げいこで得たものは、想像以上のものでした。金木の桜まつりから全国大会までの成績が、それを表しています。ただ県大会や全国大会のような大きな大会に出たということだけでなく、その大会での経験が、来年の金木相撲部にとって、い

いものになっていくと思います。また練習で苦しんでも、大会で勝つと、それもまたみんなのはげみになっていきます。来年期待できる後輩がいるので、ぼくたち以上の成績を残してほしいと願っています。そして、ぼくたちも中学校で活躍できるようにがんばりたいと思います。

金木小学校相撲部
副主将 伊藤公寿

正月恒例行事

「百人一首カルタ大会」に熱戦

金木子供会

一月十四日金木子供会の「百人一首カルタ大会」が中央公民館に小・中学生約百人が参加して開かれた。

この大会は第十四回を数える金木子供会一月恒例の行事で、外は吹雪の中、腕まくりに汗をかきかきの熱戦が学年別個人戦と中学生による団体戦で熱戦がくりひろげられた。

低学年の児童もこの日に備えて一生懸命歌を覚えてきたせいか、上の句が読み終わらないうちに「ハイッ」という声がかかるなど、にぎやかな一日であった。

成績は次の通り。

◎小学生個人の部

- ▼一年 ①外崎司佑子②泉谷竜祈③齋藤勝
- ▼二年 ①今勇介②舛甚祐③花田ひとみ
- ▼三年 ①下山沙織②中川悦子③山田麗奈
- ▼四年 ①角田真樹子②秋元理香子③西村如生



▲元気に「ハイッ」!

- ▼五年 ①大橋幸美②渋谷有香③小野亜理沙
- ▼六年 ①沢田奈央子②斉藤和③今俊也

◎団体戦の部

- ①昭和Cチーム(斉藤和、津島忍、大橋幸美)
- ②山道Bチーム(中村真希、小野瑞穂、荒関宏美)
- ③昭和Bチーム(角田潤一、工藤真理、石戸谷星子)